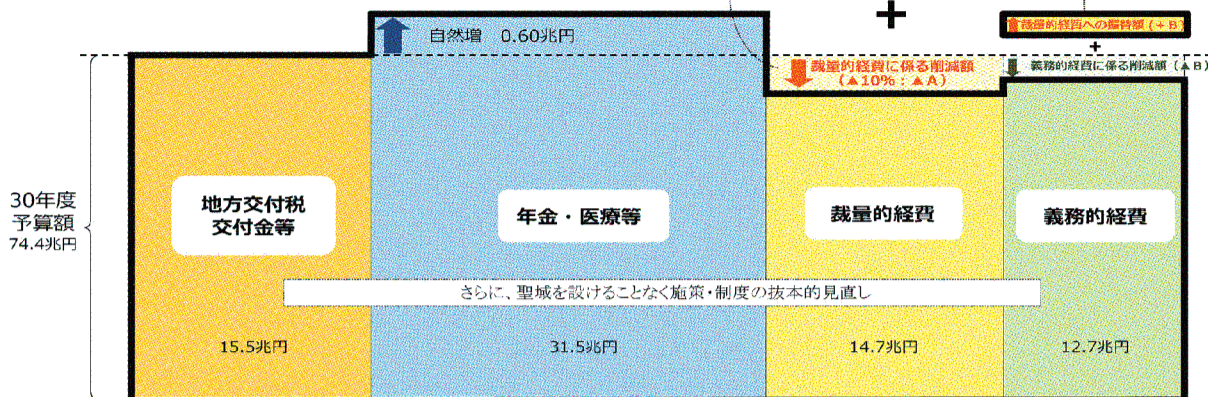
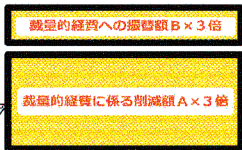


平成31年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針について

- 消費税率引上げとあわせ行う増 (これまで定められていた社会保障の充実、「新しい経済政策パッケージ」で示された「教育負担の軽減・子育て層支援・介護人材の確保」及び公経済負担) 等については、予算編成過程において検討。
- 「骨太方針2018」で示された「2019年10月1日における消費税率引上げに伴う需要変動に対して機動的な対応を図る観点から、歳出改革の取組を継続する」との方針とは別途、臨時・特別の措置を2019・2020年度当初予算において、講ずる」との方針を踏まえた平成31年度当初予算における対応については、予算編成過程において検討。

新しい日本のための優先課題推進枠



※1 地方交付税交付金等については「新経済・財政再生計画」との整合性に留意しつつ要求。義務的経費については、参議院議員通常選挙に必要な経費の増等については加減算。
 ※2 「新経済・財政再生計画」で示された「真に必要な財政需要の増加に対応するため、制度改革により恒久的な歳入増を確保する場合、歳出改革の取組に当たって考慮する」との方針を踏まえた対応等については、予算編成過程において検討。

平成31年度予算の概算要求

基本的な方針を閣議了解

政府は、7月10日に「平成31年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針について」を閣議了解した。

平成31年度予算は、「経済財政運営と改革の基本方針2018」で示された「新経済・財政再生計画」の枠組みの下、引き続き歳出改革に取り組みとしていく。

また、歳出全般にわたって、平成25年度予算から平成30年度予算までの安倍内閣の歳出改革の取組を強化するとともに、施策の優先順位を洗い直し、無駄を徹底的に排除しつつ、予算の中身を大胆に重点化していく。

国土交通省では、各地方の道路管理用車両にセンシング装置を搭載し、地方管理道路を含めた一般道の3次元データの収集を8月2日より開始した。

【目的・経緯】
 国土交通省では、道路面上の主要地物(区画線等)の位置情報を走行車両から取得するセンシング技術により、特車通行許可の審査

車載型センシング装置による3次元道路データの収集

この結果を踏まえ、各地方整備局等の道路管理用車両にセンシング装置を搭載し、地方管理道路を含めた一般道の3次元データを収集することとし、8月2日より関東地方整備局管内から順次実施する。

この結果を踏まえ、各地方整備局等の道路管理用車両にセンシング装置を搭載し、地方管理道路を含めた一般道の3次元データを収集することとし、8月2日より関東地方整備局管内から順次実施する。

【センシング装置】
 照射されるレーザー光やカメラ映像等から地物情報の3次元データを取得する装置。走行しながら車道及び車道周辺の地物の位置データを容易に取得できることから、現地測量をすることなく、必要な図面を効率的に作成できる。装置は次の機器から構成される。

▽GNSS・衛星を用いた測位システム
 測位システム
 測位システム

センシング装置による計測

GNSS、レーザースキャナ、カメラなどの機器を搭載し、走行しながら3次元の道路の形状・データを高精度で効率的に取得

レーザースキャナ
物体に照射したレーザー光の反射波により座標点群データの取得が可能

点群座標データ

カメラ
取得した画像により地物等を判別し、点群データに地物情報を付加

カメラ画像

IMU

GNSS (Global Navigation Satellite System(s))
(汎地球測位衛星システム)
衛星を用いた測位システムの総称で、継続的な位置取得により経路の把握が可能

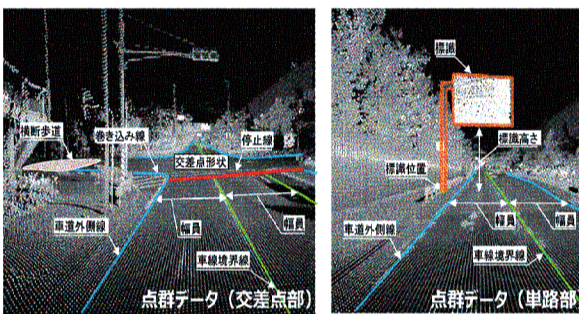
GNSSイメージ

センシング装置を搭載した車両

電子データの収集

3次元データ

センシング装置により取得した3次元点群データから、道路上の地物や幅員・交差点形状などを把握



データの取得内容・精度等

取得対象	道路面上の主要地物(車道交差点部の形状、区画線、距離標、標識、バス停)の位置情報
点群データ密度	50点/m ² 以上
数値地形図の精度	25cm以内(地形図縮尺 1/500)
カメラ	1枚/1~2m 500万画素

【参考】公共測量「作業規定の準則」
 複合表示(点群データ+カメラ)による立体的構造を持つ地物の数値図化及び距離を得るために用いる場合は、点群密度を50点/m²以上であることが標準となる。

大分自動車道から東九州自動車道へ

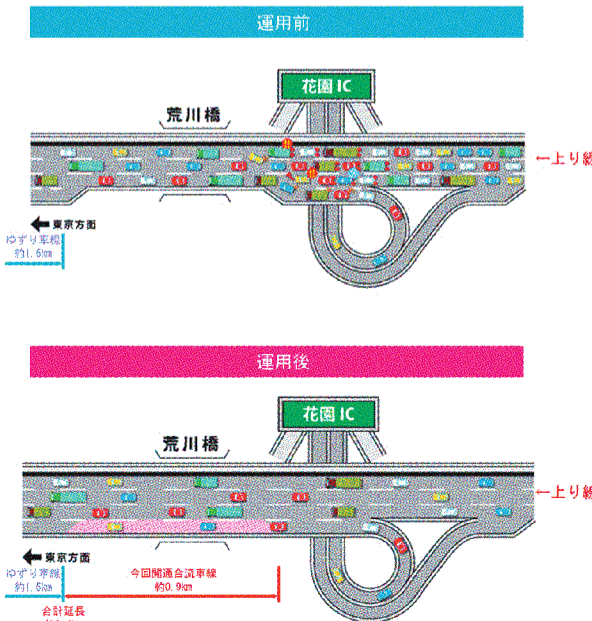
NEXCO西日本九州支社は、大分自動車道速見ICから日出JCTを経由して大分米良ICまでの区間の道路名について、平成30年8月5日(日)から東九州自動車道に変更した。

これに伴う道路標識等の変更作業は、平成31年9月のラグビーワールドカップ2019日本大会までに完了する予定である。

完了までは、当該区間に「大分自動車道」と「東九州自動車道」が併存することとなる。

NEXCO東日本関東支社は、関越自動車道上り線の花園IC付近での渋滞対策の一環として車線を増やす工事を進めてきたが、8月9日(木)から付加車線の運用を開始した。

関越自動車道上り線 花園IC付近で付加車線の運用を開始



【運用区間】
 関越自動車道花園IC上り線合流車線/約0.9km

【事業概要】
 関越自動車道の上り線では、夏季混雑期、大型連休、行楽・スキーシーズンなど、交通量の多い時期に大きな渋滞が発生している。この主な原因は、緩い上り坂やICからの合流車線により車の流れが乱れることによる速度の低下であった。

このため、平成22年12月に花園ICの東京側に1.5kmの「ゆずり車線」を設置し、今回さらに「合流車線」の延伸を行うことにより、花園ICから流入する車がこの車線を利用することで、本線への車両流入バランスが改善され、スムーズに合流できるようになる。

8月はお出かけ前に交通情報のチェックを!

NEXCO東日本	http://www.e-nexco.co.jp/	全国高速ダイヤル/050-3369-6700
NEXCO中日本	http://www.c-nexco.co.jp/	携帯電話短縮ダイヤル/#8011
NEXCO西日本	http://www.w-nexco.co.jp/	北海道地方・札幌方面/050-3369-6601
首都高速	http://www.shutoko.jp/	東北地方・宮城/050-3369-6604
阪神高速	http://www.hanshin-exp.co.jp/	全国・関東甲信越/050-3369-6600
本四高速	http://www.jb-honshi.co.jp/	中部地方・愛知/050-3369-6623
日本道路交通情報センター	http://www.jartico.or.jp/	近畿地方・大阪/050-3369-6627
全国JARTICインフォメーションダイヤル		中国地方・広島/050-3369-6634
全国共通ダイヤル/050-3369-6666		四国地方・香川/050-3369-6637
		九州地方・福岡/050-3369-6640